

⑤防災複合イベント（防災カフェ）

市町村等で行われている防災啓発イベントと連動して、過去の災害に対する周知を図るパネル展における注意点、手順は以下の通りである。

防災カフェの実例 資料編 7-5 参照

- ・ 休みの日に人が集まりやすい場所、時間を考慮に入れ、イベント開催の場所や時間を考える。
- ・ 参加者に内容が伝わったかどうか、アンケート以外に感想をインタビュー形式でヒアリングするなどの工夫が必要である。
- ・ 災害おはなしの朗読は、ただ聞いているだけでは参加者が退屈してしまうのでイメージ画像や話の内容を映像として流すなど工夫が必要である。
- ・ 防災クイズの内容は子ども達だけでも分かるように、少し平易な内容とする。
- ・ 伝承カルタは内容が難しく子どもたちに伝わりにくいので、子供用には視点を変えて少しわかりやすい内容とする。
- ・ 家族連れを対象にする場合、家族で楽しめる内容にするべきであるが、家族で防災について話すきっかけとなるように工夫が必要である。
- ・ 家族連れが集まるような他のイベントとの連携。

①防災イベントの内容を考える

※いくつかの手法（災害おはなし、防災クイズ、伝承カルタなど）を複合的に用いるのか、災害おはなし会などの単一内容とするのか

②防災イベントを開催する日時、場所を検討する

※休みの日に開催する場合は人が集まりやすい場所、時間を検討する

③会場確認を行い、レイアウトを検討する

④共催が可能な団体を検討する

⑤募集用チラシを作成、地域へ配布、HPへ掲載する

⑥関係者との事前打合せを行う

⑦アンケートの作成

⑧防災イベント開催

※参加者には感想のヒアリングやアンケートを行う

⑨実施結果をHPなどにより地域へ発信する

⑩毎年恒例のイベントとしての開催の可能性を探る